

# 地域の活動事例

団体名	嶺町北町会												
テーマ	P D C A 型防火防災訓練で高める地域の防災力												
内容	<p>○<b>防災対策委員会の立上げ</b></p> <p>平成 15 年より、「自分たちの町は自分たちで守る」をモットーに、実践的な防火防災訓練に力を入れるため、防災対策委員会を立上げる。</p> <p>・イオンとの災害時応援協定を区に働きかけ</p> <p>嶺町北町会管内の商店街とイオン（当時ジャスコ）は、平時からイベント活動等を相互に協力し、顔の見える関係を作ってきた。</p> <p>平成 20 年度 1 月、区とイオンが「災害時における応急物資の優先供給等に関する協定」を締結。</p> <p>○<b>「嶺町北町会 防災指針」の作成・配布</b></p> <p>「嶺町北町会 防災指針」を平成 26 年に作成し、町会会員全世帯に配布。</p> <table border="1"><thead><tr><th>(防災指針の目的)</th><th>(防災指針の主な項目)</th></tr></thead><tbody><tr><td>(Ⅰ) 共に考え、共に行動を</td><td>(Ⅰ) 災害と被害</td></tr><tr><td>(Ⅱ) 防災・減災の知識の共有</td><td>(Ⅱ) 出火防止</td></tr><tr><td>(Ⅲ) 防災訓練等の行事の参加</td><td>(Ⅲ) 大規模地震への備え</td></tr><tr><td></td><td>(Ⅳ) 大規模地震の際の避難</td></tr><tr><td></td><td>(Ⅴ) 防災・減災への町会の取組み</td></tr></tbody></table> <p>○<b>P D C A による住民視点の防火防災訓練</b></p> <p>防火防災訓練は、毎回区や消防署と訓練内容等を相談しながら実施し、訓練実施後は参加者に対して防災知識の理解度や要望等のアンケート調査を行うなど、次回の訓練に向けての検証を継続して行っている。</p> <p>①Plan：防災訓練計画の作成（別紙 1 参照）</p> <p>②Do：年 3 回の防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 2 月 応急救護訓練および防災講話など</li><li>・ 6 月、10 月 地震・火災を想定した発災型訓練など</li></ul>	(防災指針の目的)	(防災指針の主な項目)	(Ⅰ) 共に考え、共に行動を	(Ⅰ) 災害と被害	(Ⅱ) 防災・減災の知識の共有	(Ⅱ) 出火防止	(Ⅲ) 防災訓練等の行事の参加	(Ⅲ) 大規模地震への備え		(Ⅳ) 大規模地震の際の避難		(Ⅴ) 防災・減災への町会の取組み
(防災指針の目的)	(防災指針の主な項目)												
(Ⅰ) 共に考え、共に行動を	(Ⅰ) 災害と被害												
(Ⅱ) 防災・減災の知識の共有	(Ⅱ) 出火防止												
(Ⅲ) 防災訓練等の行事の参加	(Ⅲ) 大規模地震への備え												
	(Ⅳ) 大規模地震の際の避難												
	(Ⅴ) 防災・減災への町会の取組み												

# 地域の活動事例

※防災訓練での取り組みの一例



初期消火訓練



応急救護訓練



まちなか点検



救出・救助訓練



放水訓練

※Point  
倒壊家屋は町会独自で作成した物を使用。

※Point  
地元の幼稚園に訓練の参加を呼びかけ、防火  
衣着装やポンプ車の体験乗車での記念撮影等、  
子供が楽しめる内容も実施。

## ・要配慮者支援の取り組み

大田区、地域包括支援センター、民生委員、消防署が連携し、地域内に居住する要配慮者127名に防火防災診断及び救命キットを配布。また、町会保有の折り畳み車いすによる、要配慮者避難支援訓練を実施した。



要配慮者避難支援

## ③Check：訓練後のアンケート調査

訓練実施後は、参加者に対して防災知識の理解度や防災訓練の要望等のアンケート調査を行う。（別紙2参照）

## ④Action：アンケート調査の検証

役員会・理事会で防災訓練アンケートの結果を踏まえ改善点等の見直しをすることで、次回の訓練に向けての検証をし、住民のニーズに沿った防火防災訓練の計画を企画している。